

# No.94 経尿道的前立腺肥大症の手術を受けられる患者様へ

ID @PATIENTID  
氏名 @PATIENTNAME

経過	入院日	手術前日	手術当日前	手術当日後	手術後1日目	2日目	3日目～	退院前日	退院日
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
治療・処置	リストバンドをつけます。  常用している薬がありましたら、お知らせください。入院中の内服薬について確認します。  	← 毎朝 8時30分～9時頃に回診があります。 →							
検査・測定	身長・体重を測定します。入院時に検温をします。	21時に下剤を飲みます。	8時頃に点滴をします。手術は：～です。(治療の時間は当日の状況により変更になる場合があります。看護師が声をお掛けするまでお部屋にてお待ち下さい。	酸素マスクを指示の時間までつけます。手術後2日目の夕方まで点滴が続きます。血栓予防の機械を足につけます。	血栓予防の機械を外します。常用していた薬を再開します。	夕方の抗生剤終了後、点滴を抜きます。	3日目から抗生剤の内服が5日間あります。	 退院後のお薬のある患者さんは退院時お渡しします。	
食事	昼食から食事ができます。食事の内容・形態・量など変更が可能ですので、ご相談下さい。	21時以降飲食できません。	引き続き禁飲食です。内服が必要な場合は少量のお水で飲んで下さい。	帰室4時間後から飲水(水かお茶)ができます。	朝から食事が始まります。				
清潔		シャワーに入ってください。				お小水の管が抜けたらシャワーに入れます。			
排泄				手術後お小水の管が入ります。止血の為に管を引っぱって足に固定しているので、管を固定している側の足は曲げないで下さい。	医師の診察後、お小水の管を固定しているテープをはがします。	排尿状況をみて、医師の判断でお小水の管を抜きます。			
活動	特に制限はありませんが、病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			翌朝までベット上安静となります。	医師の診察後、歩行が可能となります。	病棟を離れるときは看護師に声を掛けて下さい。			
患者・家族の皆様への説明等	主治医より今回の入院の説明があり、承諾書をお渡しします。主治医・看護師より手術についての説明をします。看護師より、入院生活・病棟内の説明があります。(入院のご案内にも同様の内容が記載されています。)手術に必要な物品を確認します。	麻酔科医師の診察の術前訪問があります。眠れない時は薬の用意があります。  準備していただきたいもの ・和式寝衣 2～3枚 ・T字帯 2～3枚 ・長方形の紙おむつ 2～3枚	手術の前に血栓予防の靴下を履き、排尿を済ませ病室でお待ちください。入れ歯、メガネ、指輪などははずしておいて下さい。術衣に着替えて手術室へ行きます。用意した物は手術室に持っていきます。手術当日の面会制限はありません。手術中、ご家族の方は4階手術患者用の家族控え室でお待ちください。	手術後、主治医より説明があります。(後日になる場合もあります。)手術後、痛みや苦痛があるときは、鎮痛薬の注射か坐薬を準備しています。我慢せずお知らせください。			お小水の管が抜けた後、排尿量と尿色をチェックするため蓄尿して頂きます。	退院後の日常生活の注意事項を説明します。	退院の手続きと、次回外来の説明をしますので、8時半以降にナースステーションにお越しください。入院のご案内の中にあるアンケートにご協力ください。

手術後の経過は、個人差があります。ご不明な点は医師・看護師にお尋ね下さい。